

2018

8

No.538

もっと清水が好きになる。

しみずの風

特集

第46回通常総代会

おいしいをつくりましょ。

JALしみず

グローイング □ フェイス

Glowing Face

— いま、清水で輝いている人たち —



ほりいけ ひろき / JA青壮年部有度支部に所属。柑橘、茶などを栽培。二児の父。

堀池 洋希さん (33)

JAしみず青壮年部 部長

青壮年部だからこそできる活動で地域を盛り上げる
**部員たちが多くの経験を
できる場を提供したい**

静岡市清水区の畑地帯総合整備事業「矢部地区」。周囲を見渡すとミカンの木と濃い緑色の葉が青空に浮かびあがり、平らに整備された畑と広い道路が碁盤の目のように広がっている。遮るものはなく、ここちよい風がミカン畑を通り抜けていく。

そんな環境の中でミカンを育てるのが堀池洋希さん。5月には第二子も誕生し、すてきな笑顔が似合う父親としての顔も持つ。

JA青壮年部は次世代の地域農業を担う若手の農家組



表紙:「アンテナショップきらりのかき水で涼をとる家族」
タイトル文字:フリータイプ書家 岩科蓮花



■ 切り倒した竹はイカダレースで使用したり、粉碎機でチップ状にし土壌改良材や雑草抑制用に活用



■ 若手部員12人が6月中旬から5日間かけ、鳥獣害対策として約1.5haの放任竹林を整備

CONTENTS

- 2 Glowing Face
堀池 洋希さん
- 4 特集/
第46回通常総代会
- 8 TOPICS
- 10 育ててみよう♪家庭菜園
「ゴボウを育てる」
- 12 9月の営農ワンポイント
- 15 カラダにうれしい旬レシピ♪
「イチジクのサラダ」
- 16 とともに拓こう～協同が輝く時代～
- 17 アーカイブしみず
- 18 Information
- 20 ワンパクしみずっ子
「募集告知」



しみずの風の
記事の一部を
Web 動画で配信中!!



スマートフォン、タブレット、
パソコンから記事の一部が
動画でご覧いただけます。

織。現在の部員数は170人。
地域リーダーや農業後継者の
育成、部員や他組織とのネッ
トワークを強化し、JAや有
害鳥獣対策、農政問題等の学
習会など幅広く活動する。昨
年度はJAしみず青壮年部で
副部長兼県連委員を務め、今

年度から青壮年部長として奮
闘中だ。
「22歳の時に青壮年部に加
入したが、当時は若手農家が
少なく先輩部員たちにかわい
がられたっけ」と明るい笑い
声が、場の雰囲気をもよおす。
人懐っこい笑顔から一転、

「重責を感じている」と部長と
しての本心を語ってくれた。
約5年前から若手部員も増え
てうれしい限りだが、今後の
清水の農業を支えていくのは
今の若手農家。「今のうちから
多くの組織とのつながりをも
ち、さまざまな経験ができる
場を提供したい」と、堀池さん
は力を込める。

今年度の青壮年部活動の
メインは有害鳥獣対策の一環
である緩衝地帯の整備。民家
や畑周辺の放任竹林等の除伐
や草刈りを行い、野生動物が
出没しにくい環境を作り、地
域貢献を目指す。



■ Tシャツやのぼり旗、資料などに使用
されるJAしみず青壮年部のロゴマーク

除伐した竹を活用してイカ
ダをつくり、青壮年部支部対
抗イカダレースを行う。行政
や漁協など各機関の協力を得
て部員たちが一丸となり記憶
に残る取り組みだ。
「青壮年部らしい活動で地
域を盛り上げたい」と堀池さ
んはぎゅっと口元を引き締め
る。

第46回通常総代会

第46回JAしみず通常総代会を6月22日に清水テルサで開き、総代定数500人のうち348人が出席しました。2018年度の事業計画を含む全9議案と附帯決議案が承認されました。



代表理事組合長
柴田 篤郎

組合長のあいさつ

2018年度事業の四半期が終了しようとしているなか、大きな問題となる一番茶の生産について、本年度はほぼ計画通りの数量を出荷する事ができた。

現在、両河内地域にある2つの共同製茶工場は、ともに30代の若手後継者が引き継ぎ、持ち直している。JA管内にはいくつかの農業法人があるが、これからのJAの役割は、農業法人をいかに育成し、成長させていくことができるかが大きなテーマの一つになる。JAの総合事業が連携しあって、これを成長させていくことが役割になる。今後も県や市と協力し、農業振興に注力していかなくてはならない。

全国の農協をみると、営農経済事業で農協の経営がまかなえていない農協も複数ある。当JAも最終的にはそこを目指していかなくてはならない。子会社の(株)ジェ

第46回清水農協通常総代会



イエイしみずサービスは農協の営農事業を補完する立場であるが、タケノコなど加工品販売を行っている。今後も農産物加工品の取扱いを増やしていく。また本年から新たに農業に参入し、柑橘類やその他の農作物の栽培に着手する。いずれかは農業法人になって収益をあげられるような組織にしていきたい。

外部からの要因でスタートしたJA自己改革だが、本来は言われるまでもなく自己改革をしていかなくてはならない。JAしみずは地に足をつけて、今後も農協のやるべきことを実行していく。



畑地帯総合整備事業「加瀬沢地区」と新東名ネオパーサ清水

2017年度事業報告

《営農経済事業》《営農振興事業》

農家組合員の農業所得の向上に取り組みました。農家組合員との話し合いを通じて自己改革を実践していくため、28組織の作物部会員と座談会を開き、意見を収集しました。地元スーパーへの直接販売や学校給食への供給など、買取販売の拡大に取り組みました。

営農アドバイザーを講師とした研修会や実践圃場としてJAが借用した農地を活用して、営農指導員の資質向上に取り組みました。

【経済事業】

組合員・利用者満足につながる総合事業の展開に取り組みました。生産購買事業では、生産資材の仕入れについて、入札方式・直接仕入方式の実施により供給価格引き

下げに取り組みました。

組合員の利便性の確保とスケールメリットを生かした経営を行う目的で、ジエイエイ静岡燃料サービス(株)に石油事業を経営委託、LPG事業を経営譲渡しました。

《信用共済事業》《信用事業》

農協らしい金融サービスの提供を通じ、農業がより地域、利用者に理解されるときにも、組合員、利用者の満足度が向上するような活動に取り組みました。

ファイナンシャルアドバイザーを中心に訪問活動を行うことで組合員、利用者のニーズを的確に捉えながら、FP知識・技能を活用した相談体制を構築しました。

【共済事業】

ライフプランに合わせた保障点検を実施し、信頼関係の構築を図り、また世帯内未加入者を中心にニューパートナーを獲得しました。

2017年度 写真で見る事業報告



清水の農産物キャラクターをデザインしたラッピングトラックの納車式を4月27日に行いました。



第40回全国土地改良大会静岡大会が10月25日から27日まで開かれ、全国から4,200人以上の関係者が県内を訪れました。



JALしみず合併45周年記念の特別番組「清水発!農業新時代～山を平らな畑に～」が、静岡第一テレビで12月28日に放送されました。

2月24日には、記念事業として劇団「わらび座」によるミュージカル「KINJIRO!～本当は面白い二宮金次郎～」を開きました。



2018年度 事業計画

本年度は「ともに拓こう、協同

が輝く時代」をテーマとする3か年計画の中間年度として、計画の実現に向けた取り組みを強化するとともに、これまで以上に親しみを持って利用してもらえ、農協を目指し、幅広い農協利用者との関係強化に努めます。また、入札制度による生産資材の有利調達、アンテナショップを核とした買取販売等を通じて、農業所得の向上に向けた取り組みを加速化させるよう努めます。

人ひとりの状況やニーズ、目的に合わせたJAらしい金融商品やサービスの提供を行い、更なる満足度の充足に取り組みます。

【共済事業】

地域密着の事業運営により、組合員・利用者への最良のサービスと安心・信頼の保障提供をします。

また、「ニューパートナー」および次世代層の獲得に向け未加入者に対する訪問活動を一層強化します。

《その他事業》【農地整備事業】

畑地帯総合整備事業の早期完成と担い手への農地集積を支援します。地域活性化のための新規農業農村整備事業を推進します。

【不動産事業】

総合事業を活用した利用者の期待に応える事業を展開するため、資産を次代につなぐ相続相談の強化と資産活用を提案します。

【旅行事業】

農協らしくきめ細やかで、利用しやすい安全で安心な旅行の提供に取り組みます。

《監査・企画・管理部門》

「10年後の将来像」の実現と自己改革の完遂に向け、組合員・役員がともに取り組む3か年計画の各部署における取り組みを支援し、組合員から信頼され、地域になくはない組織として評価されるJAの確立をめざします。

《その他事業》【農地整備事業】

農業生産基盤整備を支援しました。各地区で農業農村整備の新規事業化に向けた検討を継続したほか、中部横断自動車道建設工事の発生士を活用した小規模土地改良事業2地区の埋土工事を実施しました。

【不動産事業】

財産診断を行い、資産を次代につなぐ相続相談と資産活用の提案、賃貸物件の維持管理を支援する管理業務に取り組みました。

【旅行事業】

旅行のニーズを的確に把握し、内容の充実した旅行の企画・斡旋と、利用しやすく、安全・安心な旅行の提供に取り組みました。

《監査・企画・管理部門》【経営管理】

新3か年計画の初年度として、組合員から信頼され、地域になくはない組織として評価され

るJAの確立をめざし2011年度に策定した「10年後の将来像」の実現と、自己改革へ向けた取り組みを支援しました。

各部署の取り組みをローリングプラン等により検証し、事業計画の達成と健全経営の実現に努めました。また本店諸会議においてスマート会議を導入し、業務の効率化を図りました。

自己改革の一環として組合員アンケートを実施し組合員の農協に対する評価や期待の把握に努めました。

【農政対策】

組合員の声を政策要請として取りまとめ、農政対策協議会等で協議の上、他組織との連携を図りながら市・県国に対する要請活動を行いました。市・県国の措置状況を、ブロック別総代会等で報告し、組合員との情報共有を図りました。

《営農経済事業》【営農振興事業】

「アンテナショップきらり」を基点に農産物の買取販売を拡充し、農業所得の向上を図ります。

出向く営農指導により個々の農家の経営実態を把握した上で、提案と情報提供を行います。

【経済事業】

生産購買事業では、生産資材コストの低減を図り、また労力軽減資材等の取扱いを充実させます。

葬祭事業では、「葬儀の小型化」の割合が増えている中、変化に対応した葬儀方法を検討します。

《信用共済事業》【信用事業】

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」のもと、ご利用者一



株式会社エイエィサービス
代表取締役社長
前澤 勉



常勤監事
岩崎 行雄



常務理事
山口 肇



常務理事
池田 省一



代表理事専務
小川 通博



平成29年度事業実績および30年度事業計画

(単位:千円)

区分		平成29年度実績	平成30年度計画
信用事業	貸出金	79,101,347	79,586,000
	貯金	282,825,164	287,068,000
共済事業	ひと	生命系長期共済保有高	195,721,080
		年金共済保有高	2,986,160
	いえ	建物更生共済保有高	492,899,150
		くるま	自動車共済保有台数
経済事業 (供給高)	生産購買	1,294,920	1,359,500
	生活購買	604,936	547,000
	メモリアル(葬祭)	757,844	774,820
	車両燃料	1,185,335	-
	計	3,843,034	2,681,320
宮農振興事業 (販売高)	みかん	1,295,301	1,320,000
	中晩柑	352,436	380,000
	荒茶	312,129	300,000
	生葉	119,376	120,000
	花卉	340,952	341,000
	枝豆	262,076	263,000
	いちご	335,945	338,000
	トマト	139,743	137,600
	その他	430,615	450,400
	仕上茶	171,108	167,730
	農産物買取販売	193,417	204,890
	グリーンセンター直売	184,694	182,000
	株式会社エイエィサービス直売	274,689	290,000
	計	4,412,481	4,494,620
その他事業 (取扱額)	農地整備	1,099,185	705,827
	宅地等供給不動産	3,071,250	2,896,000
	旅行	219,497	230,000

平成29年度事業総利益および30年度計画

(単位:億円)

科目	平成29年度実績			平成30年度計画		
	収益	費用	利益	収益	費用	利益
信用事業	25.76	6.30	19.46	25.01	6.54	18.47
共済事業	11.71	0.64	11.07	11.00	0.71	10.29
購買事業	38.95	32.30	6.64	27.28	22.58	4.69
販売事業	7.08	4.79	2.28	7.08	4.84	2.24
利用事業	0.03	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00
宅地等供給事業	1.10	0.06	1.03	1.11	0.08	1.02
農地利用集積円滑化事業	0.16	0.12	0.04	0.07	0.06	0.00
その他事業	0.80	0.13	0.66	0.93	0.29	0.63
指導事業	0.16	0.54	▲0.38	0.26	0.67	▲0.40
計	85.78	44.92	40.85	72.78	35.81	36.96

(100万円未満は切り捨て)

JAしみずが、各地域の活動やイベントなど、さまざまな話題を独自に取材し、ご紹介いたします。

JAしみず女性部

JA大北女性部と交流会

姉妹提携を機に相互に親睦を深めようと7月3日、「第3回 JA大北・JAしみず女性部交流会」を当JA本店で開催しました。長野県のJA大北から女性部員約20人が訪れ、交流会や畑地帯総合整備事業地の見学、プラムの収穫体験などを行いました。

交流会では、JAしみず女性部員によるおいしいお茶の淹れ方講座や、女性部が毎年開いている「クッキングフェスタ」のレシピを披露するなど、会場はにぎわっていました。



▲交流会に参加したJA大北・JAしみず女性部メンバー

濃厚な甘みととろける食感

清水産ハウスミカン出荷開始



贈答用として人気が高い「ハウスミカン」の出荷が6月28日、柑橘共選場で始まりしました。初日はJAハウスミカン部会の生産者2人が「宮川早生」約500キロを持ち込み、光センサー選果機で着色や糖度、酸度などを選別し、市内の市場などへ出荷しました。

ハウスミカンは、冬の温州ミカンに比べて果皮が薄く、みずみずしく濃厚な甘みと、とろけるような果汁と食感が特徴です。同部会の井上剛之部会長は「甘みと酸のバランス、着色も良い。おいしいミカンを消費者に届けたい」と話しました。



▲持ち込まれたハウスミカンの品質を確認する作業員とかんたくん

農産物や産地をPR

ラッピングトラック納車式



▲トラックの安全や清水の農産物の認知度向上を祈願した納車式

清水の農産物キャラクターをデザインしたラッピングトラックの納車式を6月20日に行いました。柴田篤郎組合長や、ジェイエイしみずサービスの前澤勉社長などが出席し、トラックの安全や清水の農産物の認知度向上を祈願しました。

ラッピングトラック第5弾は、10種類を超えるキャラクターが茶畑でお茶摘みを楽しむ様子をデザインしました。

デザインを担当したJA職員の村岡花帆さんは「清水がお茶の名産地であることも一緒にPRしたい」と話しました。

JAしみずバラ部会

清水区長とシズラにバラ贈呈



JAしみずバラ部会の堀池広起部会長が6月19日、高木強清水区長と清水区広報キャラクターの「シズラ」にバラの花束をプレゼントしました。6月下旬まで清水区役所1階ロビーに48種類の薔薇が展示され、来庁者をもてなしました。

清水は全国でも有数のバラ産地です。同部会では現在、約70種類のバラを栽培しており、主に地元市場や京浜市場へ出荷しています。



▲清水のバラの品種や特徴を説明する堀池部会長



6月20日開催／農★Girl体験

プラムを使ったスイーツづくりに挑戦

ハーベストカレッジ6月の講座は、庵原地域でプラムを生産している望月崇弘さんを講師に招き、「プラムジャム」と「ババロアとプラムのゼリー」を作りました。「プラムジャム」は、鍋にプラムを入れて煮て、種とあくを取り、砂糖を加え、さらに煮詰めれば完成です。プラムを皮ごと使うことで、真っ赤で色が鮮やかなプラムジャムができます。

受講生は、完成したスイーツと清水の和紅茶と一緒に味わい、清水の農産物を堪能した1日を過ごしました。



▲プラムジャムづくりに挑戦する受講生

来店客に注意を呼びかけ

高部支店で特殊詐欺被害防止運動

当JAは6月15日、清水職場防犯協会と協力し、高部支店で特殊詐欺被害防止の呼び掛けを行いました。来店者の多い年金受給日に、同協会の「防犯マスコットガール」に選ばれたJA職員の奥山楓さんが注意を呼び掛けました。

奥山さんは「少しでも被害が減れば嬉しい。これからも防犯をPRしていきたい」と話しました。



▲来店客にチラシを配布する防犯マスコットガール

地元の特産品を学ぼう

船越小学校でお茶摘み体験

静岡市立清水船越小学校の3年生113人は6月19日、管内の茶生産者・水野正一さんの茶園でお茶の手摘みを体験しました。清水の特産品である茶について深く知ってもらおうと、毎年行われています。

児童は茶の摘み方などの説明を受けたあと、約2時間の作業を行い計約20kgの生葉を摘み取りました。



▲一芯二葉で丁寧に摘み取る児童

蒲原地域運営委員会

1地域1協同活動でオリーブ栽培

蒲原地域運営委員会は6月16日、オリーブの栽培園地で草刈り作業と園内整備を行い、地域組合員や蒲原支店職員など約50人が参加し汗を流しました。

蒲原支店は本年度、1地域1協同活動としてオリーブの栽培に取り組んでいます。栽培や園地の管理を通じて、職員が地域の組織や組合員との交流を深める事が主な目的です。

作業終了後の反省会では、女性部によるおにぎりや手作り料理も振る舞われ、参加者一同で親睦を深めることができ、地域農業や組織活動の活性化につながりました。



▲草刈り作業と園内整備を行った参加者ら

静岡市立清水高部東小学校

ふれあいの里で梅の収穫体験

梅ヶ谷地域の農家を中心に51人が管理運営している「梅ヶ谷ふれあいの里」で6月7日、静岡市立清水高部東小学校3年生110人が梅の収穫に挑戦しました。地元産の梅を知ってもらおうと、ふれあいの里が約10aの梅園を開放しました。

ふれあいの里代表の久保田令司さんは「子どもたちには梅の収穫を通して、地元の良さを知ってもらいたい」と話していました。



▲梅を収穫する児童

育ててみよう

家庭菜園

ゴボウを育てる



特性とポイント

外国産の植物で始めて日本で作物化された唯一のもので、繊維質に富み、胃腸の洗浄や良性の細菌を増やすとされています。温暖な気候を好み、夏の暑さに耐えて生育します。

耕土が深く、排水の良いところを好むので、深く耕してから栽培します。

長根種と短根種があり、一般的には春まき、秋まきともに柳川理想、山田早生、滝野川などが用いられます。短根種には大浦、萩などがあります。

1 畑の準備



春先に20cm くらいの深さに 耕す。

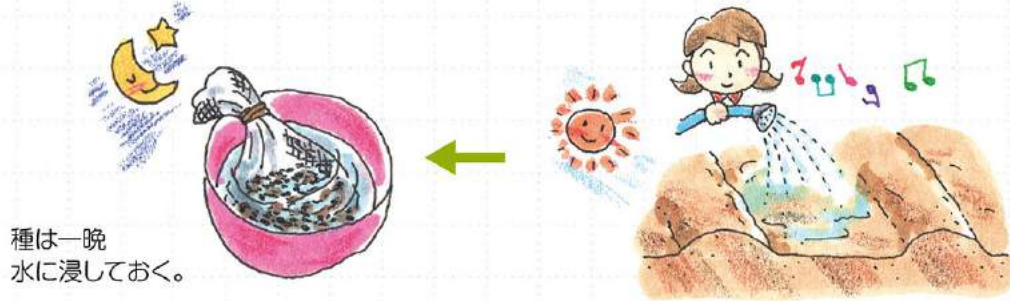
完熟堆肥

スコップで 2段階に!

70~ 80cm

形状の良いゴボウを育て、楽に収穫ができるように畑をよく耕しておく。

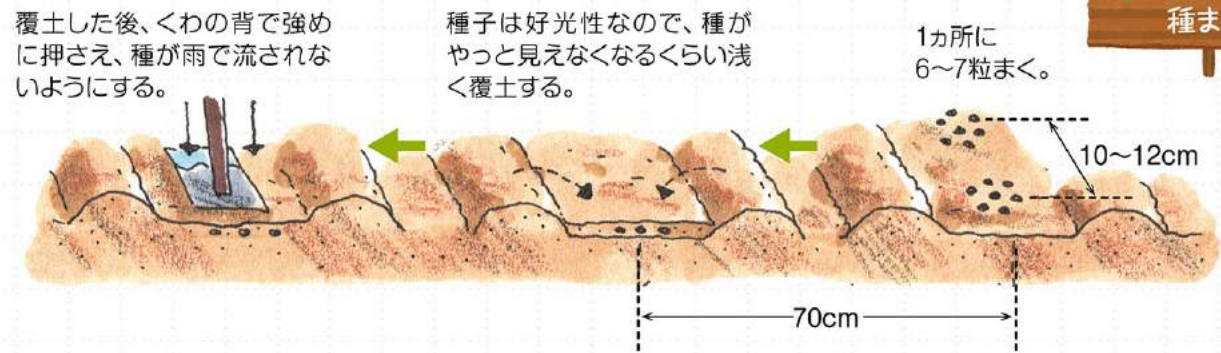
2 種子の準備



種は一晚 水に浸しておく。

種をまく前にまき溝の全面を丁寧にかん水しておく。

3 種まき



覆土した後、くわの背で強めに押さえ、種が雨で流されないようにする。

種子は好光性なので、種が やっと見えなくなるくらい浅く覆土する。

1カ所に 6~7粒まく。

10~12cm

70cm

栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春まき栽培	■		●	●						■		
秋まき栽培						■	■		●			

● 種まき ■ 収穫

※ 上記の肥料・農薬は、JA グリーンセンターでお買い求めいただけます。 ※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。

※ ご注意ください 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。



集出荷センター 054-367-6111

ここが
知りたい！
Q&A

Q

収穫する時期はいつ？

A

若どりから冬中まで長い

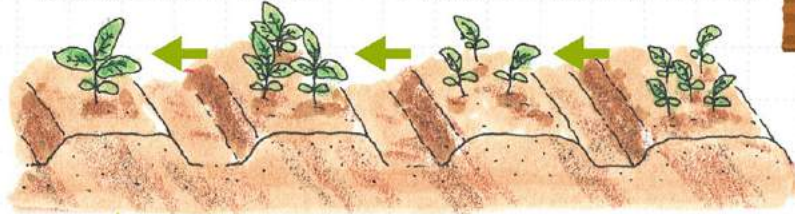
根が一人前に肥大するのは、種まき後4~5ヶ月ですが、2~3ヶ月のころから肥大状況を観察し、直径1cmくらいになったら「若ゴボウ」として、はしりの味を楽しむのも良いでしょう。

本格的な収穫は、春まき栽培で秋から、冬採りは10月に入ってから、秋まき栽培での夏採りの場合は、5月末以降です。秋~冬採りは地上部は枯れますが、根は大丈夫なので冬中採り続けます。



本葉3枚のころ、1本にする。

本葉1枚のころ間引き、2本にする。



4
間引き



8
貯蔵

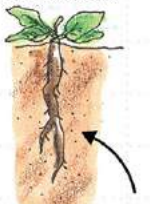
▼土の中に保存する

越冬後、掘り取ったあと遅くまで利用したい時は、しん芽の部分をかき取り土に埋めておくと長くもつ。

間引きの時の良い株の見分け方



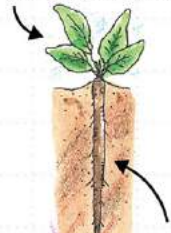
葉が広がって育ちの遅いものと、勢いが良すぎるもの。



根が根変形している。根が太っていない。



葉が上方に向かって素直に伸びている。



根もまっすぐに伸びている。

7
収穫

通常のコボウ

10月下旬から掘り始める。葉が枯れ始める12月上旬が本格的な収穫シーズン。葉が枯れても3月ころまで収穫が可能。



若ゴボウ

根の直径が1cmくらいに育ったころから収穫して利用できる。

5
病虫害防除



夏の間うどんこ病やフキノメイガなどの害虫の被害に遭うことが多いので、早めの薬剤散布が必要。

6
追肥

有機化成10号



本葉1~2枚と5~6枚のころの2回、追肥をして、くわで土を和らげながら畝に土を寄せる。

グリーンセンター直売

2017年8月の
売上ランキング

1位	梨
2位	菊
3位	イチジク
4位	ブドウ
5位	ナス

■施肥例

施肥量：1坪あたり

種類	施用量	備考	
元肥	完熟堆肥	3kg	は種1ヶ月前
	苦土石灰	300g	
	有機化成10号	150g	は種2週間前
追肥	有機化成10号	50g/回	本葉1~2枚、5~6枚のころ2回

■病虫害防除

1畝/1坪当たり

対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
フキノメイガ	スミチオン乳剤	1,000~2,000倍	収穫14日前まで	2回
アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍	収穫7日前まで	2回
うどんこ病	トリフミン水和剤	1000倍	収穫前日まで	3回
黒斑細菌病	Zポルドー	500倍	-----	-----



9月の営農ワンポイント

茶

9月からは、茶の樹の地上部や地下部の成長が活発になり、次年度の一番茶を生育させるための養分蓄積が開始されます。

この時期に、葉層を十分に蓄え、光合成をさせることで、翌年の収量や品質に好影響を与えますので、基本に沿った管理を行ってください。また、下旬には秋整枝が始まりますので、茶園の状況を把握し、計画的に実施してください。

- **病害虫防除** 主に秋芽に対して防除を行う園地としては、秋冬番を摘採する園地や更新園が該当します。秋芽萌芽から開葉期の害虫に注意し、発生確認後速やかに、基準に沿った防除を実施してください。

表① 秋冬番を摘採する茶園・更新園の防除(茶)

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
秋芽開葉期	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホコリダニ チャトゲコナジラミ	ハチハチフロアブル	1,500倍	14日	1回

※ 病害虫発生確認後防除

- **施肥** 秋肥は、越冬芽の充実と翌年一番茶への寄与を図るため秋整枝前に施肥します。冒頭でも述べたように、この時期の養分蓄積が翌年一番茶の収量・品質への寄与率が高いため、基準に沿って確実に実施してください。

表② 施肥(茶)

施肥名	コース名	施肥時期	肥料名	袋数
秋肥	基本樹上・省力	秋整枝前(9月)	しみず長効き配合	5袋
		8月中下旬	しみずプレミアム魚配合	5袋
	芽重・良質茶	秋整枝前(9月)	しみずパワフル配合	5袋

10aあたり

- **秋整枝** 秋整枝は、単に摘採面を均一にする作業ではなく、翌年一番茶の収量構成を担う重要な作業ですので、計画的に実施してください。

- **整枝位置** 秋整枝の位置(深さ)は三番茶の生育状況によって判断してください。

- ① **三番茶の生育が良い場合** 三番茶芽の下位2~3枚目の間で、三番茶の下位から2節残してください。
- ② **三番茶の生育が悪い場合** 三番茶芽の頂芽をできるだけ残し、秋芽のみを除去する程度の浅い整枝とし、次年度の有効芽を確保してください。
- ③ **更新園の場合** 更新後の再生枝の下位から2節を残して秋整枝を行います。7月に整枝をした場合は、その後出てきた芽を2節残します。

- **清水の芽重型茶園の秋整枝**

清水の芽重型茶園の認定要件は、原則「年間成長量15cm以上」です。

年間成長量は葉層とは異なり、「前年の秋整枝位置」から「本年の秋整枝位置」までの長さ、更新園では「本年更新位置」から「本年秋整枝」までの長さですので、年間成長量を確保するために整枝前の位置確認を必ず行ってください。

更新園や芽重型茶園など、徒長している茶園では、日焼け防止のため、2回に分けて秋整枝を実施します。1回目の整枝は、本整枝の7日前を目安に、本整枝位置より3節上で実施します。

- **秋整枝の時期**

気温の推移を正確に予測することは困難ですが、気象予報に留意するとともに、園地の場所による差にも配慮し、平均気温が19~20℃になったころを実施を目安にしてください。また、芽重型茶園では越冬芽の生育が早いので、若干遅めの整枝を行うことが理想的です。ただし、あまりに遅すぎると、越冬芽の形成が遅れ一番茶に影響が及びますので、遅くとも10月中旬までに実施してください。



柑橘

● 病害虫防除

表①を参考に防除してください。極早生については、収穫前日数に注意が必要です。また、ポンカンおよびはるみに対しては、ベンコゼブ水和剤の収穫前日数90日にご注意ください。秋のミカンハダニの被害は品質低下につながるため、適期防除を心掛けてください。

表① 病害虫防除 (柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
温州みかん ^{※3} 、 ^{※4}	8月下旬～	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※2}	2,000倍	21日～2回	○
		ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	3,000倍	前日～1回	○
中晩柑 ^{※5}	9月上旬	黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日～4回	×
		チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※2}	2,000倍	21日～2回	○
		ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	3,000倍	前日～1回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日～4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数×散布回数」をあらわします。

※2 キラップフロアブルについては、着色期以降に使用すると薬害が発生する恐れがあるため、使用しない。

※3 9月防除以降カメムシが発生した場合には、ロディー乳剤(劇)2,000倍(7日・4回)を散布する。

※4 後期黒点病感染が懸念される場合は、ベンコゼブ水和剤を使用基準に注意して散布する。

※5 台風襲来よりかきよう病の多発が予想される場合は、クレフノン200倍加用、ムッシュボルドー-DF1,000倍(-)を台風襲来前に散布する。

～その他注意点～ 9月防除以降、チャノキイロアザミウマ多発園やハマキムシ発生園では、ディアナWDG10,000倍(前日・2回)を散布する。

● 管理作業

表②を参考に摘果してください。青島温州は9月以降が後期摘果の時期となります。果皮がなめらかになったころに摘果することにより、無摘果に比べ糖度が上昇する傾向があります。増糖効果を得るためにも、極小果、内・裾なり果、傷果、腰高果等を中心に1本の樹を短時間で摘果し、葉果比を25枚に1果まで近づけてください。

著しく着果量が少ない樹は、収穫前の樹上選果で対応してください。

表③を参考に初秋肥を施用してください。

表② 摘果 (柑橘)

品目	摘果する果実	残す果実	摘果終了時期目安	最終適正葉果比
青島温州	内・裾なり果、極小果、著しい外観不良果	外なり果、少々の外観不良果、軸太果、天なり果、極大玉果 [※]	10月中旬まで	25枚に1果
太田ポンカン	圓花果、短い有葉果、樹上1/3全摘果(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	外周部の有葉果 10cm以上で5枚程度の果梗枝の細い有葉果	9月上旬まで	100～120枚に1果

※軸太果、天なり果、極大玉果、外観不良果は10月下旬以降の樹上選果で摘果する

表③ 施肥 (柑橘)

品目	施用時期	肥料名	10aあたり 施用量
はるみ・不知火・清見	9月上旬	かんたくんBB	2袋
甘夏・スルガエレガント			3袋



落葉果樹

● 病害虫防除

薬剤散布に加え、園内清掃に努めることで、本年および翌年の病害虫防除となります。

特にイチジクの黒かび病発病果は媒介昆虫を誘引し、二次伝染病となるため早期に除去し、処分してください。梨の黒星病が発生した葉は落葉、地表面で越冬し、翌年の発生源となるため注意が必要です。

表④ 病害虫防除 (落葉果樹)

静岡県落葉果樹栽培協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}
イチジク	9月下旬	さび病・疫病	アミスター10フロアブル	1,000倍	前日～3回
柿(次郎、四ツ満)	9月上旬	うどんこ病・炭そ病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	14日～3回
		カメムシ類	テルスターフロアブル		3日～2回
梨(幸水、豊水)	9月中旬	黒星病	キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル	1,000倍	3日～9回
キウイフルーツ(ハイワード)	9月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日～5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アプロード水和剤	1,000倍	前日～2回
キウイフルーツ(レインボーレッド)	9月中旬	貯蔵病害(灰色かび病)	スミブレンド水和剤 または ストロビードライフロアブル	2,000倍	前日～4回
		クワシロカイガラムシ	アプロード水和剤		前日～2回

※1 使用基準は「収穫前日数×散布回数」をあらわします。

※2 天気と害虫の発生状況に応じて、散布時期を調整してください。

● 管理作業

イチジクは収穫期のため、継続的な施肥を行ってください。

収穫を終えた品目は、翌年に向けた樹勢回復のために必ず礼肥を施用してください。

台風シーズンのため落葉、落果防止のため台風対策を行ってください。

表⑤ 施肥 (落葉果樹)

品目	施用時期	肥料名	10aあたり 施用量
イチジク	9月上旬	粒状圓形30号小粒	1.5袋
	9月下旬		
梨	収穫後	有機化成10号	3袋



花卉



●バラ

4月に改植した品種は、通常9月上旬から採花のピークを迎えます（アーチング栽培の場合は、早ければ7月上旬から）。本格的な出荷が始まる時期となりますので、評価を下げないために、既存品種はもちろん、新規導入品種も品質を重視した選別を行いましょう。気温の低下を見て、通常の防除にべト病の予防剤を加えて散布しましょう。また、弱っている株にはソフトピンチを行い、樹勢をつけましょう。

●洋ラン類の栽培管理

9月になると西日が強くなるので、葉焼けを防ぐため、ハウスサイドにも遮光を行うようにしましょう。



●オンシジウム

開花間近の株はバルブからの水分利用が多くなるので、かん水量をやや多めにしましょう。また、ヨトウムシやナメクジによる花芽の食害が増加するので、早めに防除しましょう。

●シンビジウム

施設内の乾燥が続くとハダニが多発し、蕾が被害に遭うと開花後にリップ部分に変色してしまいます。発生状況を見極めて、薬剤散布を徹底しましょう。

イチゴ



●育苗管理

ランナー切り離し後のポット苗の管理が大変重要です。葉が込み合うようならポット間隔を広げましょう。また、硝酸態窒素濃度を測定（特にきらび香は、葉色では判断できないことが多いです）し、必要に応じて液肥を葉面散布して苗質をそろえましょう。

病害虫は本圃に持ち込んでしまうとその後の防除が非常に困難です。特にうどんこ病・ハダニは、育苗段階から定期的に防除を行い、持ち込み防止に努めてください。また、炭そ病は定植後散布できる薬剤が極端に減るため、育苗中にしっかり防除を行いましょう。

●定植

年内に収量を確保するためには、定植を花芽分化後に行うのが最適です。検鏡により花芽分化を確認し、速やかに定植を行いましょう。

ただし、9月は台風シーズンであり、計画的な定植が難しい時期となります。定植が遅れる場合には苗に液肥を施用するなど、老化防止に努めましょう。

●活着促進

スムーズな活着が花芽を順調に生育させ、収量を安定させることにつながります。定植後一週間程度は株元（クラウン部分の回りの土）が湿るように手かん水を行い、根の発生を促します。また、かん水不足による乾燥は葉の展開の遅れ、葉面積の低下、果実の小玉化を招きますので注意しましょう。畝は絶対に乾かさず、適度な土壌水分量を保ってください。

水稲

●防除

最終防除として中生・晩生品種では8月下旬～9月上旬に栽培暦に従い、いもち病・ウンカ類・コブノメイガ等の防除をします。



●収穫適期

米作りも仕上げ段階になります。一般的に、早刈りすると青米や未熟米が多くなり、食味・品質・収量ともに低下します。逆に刈り遅れた場合は、玄米の光沢が失われ、胴割米が多くなり品質が低下します。

収穫適期の目安は、出穂後日数で早生種35日前後、中生種40日前後、晩生種45日前後です。さらに正確に適期を知るには、少しでも緑色を呈している籾（帯緑籾）の割合から判断する方法があります。生育が平均的な株を調べ、稔実籾中の帯緑籾の割合が5～10%の時が収穫適期となります。また、帯緑籾が半減する日数は、8月～9月中旬でおおよそ5日間、9月下旬以降でおおよそ7日間が目安です。



レ・ジ・ク・ピ。



イチジクのサラダ

～食べる人参ドレッシングとともに～



材 料 2人分

- イチジク……………3個
- 乾燥イチジク……………大さじ1個
(なければレーズン6粒程度で代用)
- ニンジン……………100g
- A** チリパウダー……………少々
(なければカレー粉で代用)
- ケイパー……………小さじ1杯
(なければ、みじん切りにしたキュウリのピクルスで代用)
- レモン果汁……………小さじ2杯
- オリーブオイル……………小さじ2杯
- カッテージチーズ(粗いタイプ)
……………大さじ2杯
- 生ハム……………適量
- 枝豆 手もぎ雅……………適量

作 り 方

1. 洗ったニンジンをゆるくラップにつつみ、600Wの電子レンジで1分加熱する。
(お好みで皮はそのままでも良い)
加熱が終わったらラップごとすぐ水にとってさまし、触れるようになったら、目の粗いおろし金で大きめのボウルにおろし入れる。
(フードプロセッサーを使用しても良い)
すりおろせたら、(A)の材料を一つずつ加えて混ぜ合わせる。
2. イチジク1個は、皮をむき、存在感がでるよう1.5cm角程度に切る。乾燥イチジクは8mm角程度に粗く刻む。2を1のボウルに加える。
3. 1と2をあえた後、カッテージチーズを加えて、ごく軽く混ぜる。
食べるニンジンドレッシングのできあがり。
4. 残りのイチジク2個は、皮ごと縦4等分の位置に包丁をいれる。
下までは切り離さず盛り付け用の皿に移し、軽く開いておく。
5. 生ハムは2cm×3cm程度に切り、8枚作る。
皿に盛ったイチジク1片につき生ハム1枚をかぶせる。
(生ハムはクルクルと巻いて添えても良い)
6. 「イチジクの花びら」の中心部に食べるニンジンドレッシングを半量ずつ、こんもりと盛りつける。
7. 電子レンジ加熱した「手もぎ雅」を好みの量散らして完成。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



イチジク

旬と季節のまめ知識

江戸時代に渡来した「蓬莱柿(オウライシ)」に始まる日本のイチジク栽培。現在は明治42年導入の「榊井ドーフィン」が主流です。繊細な果実ゆえハウス栽培も盛んですが、清水では露地栽培も行われています。果皮の紫色、果肉中心部のルビー色が冴えわたります。イチジクには水溶性食物繊維が豊富。外界と接している「腸」には全身の免疫細胞の6割が存在しますから、善玉菌のエサとなる水溶性食物繊維の摂取で腸内環境を整え、免疫力向上を図りましょう。

協同が輝く時代



組合員・地域住民の皆さまの農
業所得向上とくらしの豊かさの實現
のため、当JAが取り組む活動を取
り上げます。

地元産農産物の 高級かき氷が好評

JAしみずアンテナシヨッ
プ「きらり」が販売する地元産
のイチゴやミカンなどを使っ
た夏季限定のかき氷が好評で
す。

9月末までの期間中、前年
比160%増の800杯の販
売を目指しています。

ブルーベリーかき氷が登場

かき氷は昨年から販売していますが、
今年はブルーベリーをジャム状に加工
して製氷した「ブルーベリーかき氷」も
新メニューに加わり、清水産農産物を加
工した6種類と、レギュラー品の4種類
を含む全10種類となりました。

清水産イチゴの「紅ほっぺ」や「きらび
香」の果肉を丸ごと凍らせた果肉氷を削
り、イチゴを添えた「まるごと苺スペ
シャル」は、昨年からの人気メニューで、



ブルーベリーかき氷

目に優しいとされるアントシアニンを
豊富に含むブルーベリーをジャム状
に加工して製氷したかき氷。

かき氷を購入される方は、店内飲食の
「イトイン」が多く、30歳〜40歳の家族
連れや、店舗近くに野球場があることか
ら高校野球観戦帰りの方などが多いの
が特徴です。

ふわふわな食感とイチゴ本来の味を丸
ごと味わえます。
また、ミルクとハウスミカンの果肉を
凍らせた「ミルクハウスみかん」や、抹茶
をふんだんに使用し、小豆や白玉の甘味
と抹茶の苦味を味わえる「清水抹茶金時」
や「ミルク苺」、「清水紅茶金時」も人気で
す。

Menu

【かき氷メニュー】

まるごと苺スペシャル

「紅ほっぺ」や「きらび香」の果肉を丸
ごと凍らせた氷を削り、イチゴを添え
たかき氷。

ミルクハウスみかん

ミルクとハウスミカンの果肉を凍らせ
た果肉氷を削ったかき氷

清水抹茶金時

清水産の抹茶をふんだんに使用し、小
豆や白玉の甘味と抹茶の苦味が特徴。

ミルク苺

イチゴの果肉とミルクをブレンドし、ふ
わふわな食感が味わえる。

清水紅茶金時

和紅茶にミルクを加えて製氷し、紅
茶の味を引き立たせるため小豆、白玉
をトッピング。



※ まるごと苺スペシャルは一杯950円、その他5種類は
850円、レギュラー一品4種類は450円。いずれも税込み。

6次化で農業所得向上へ

「きらり」は、JA管内の「旬な農産品」
の中から「最高級品」を取りそろえ、清水
の海産物や特産品とともに、清水の魅力
を発信する販売店です。

生産者から直接農産物を買って取っ
て販売する買取販売に力を入れており、近
隣スーパーや学校給食センター等との
直接取引や、かき氷、ゼリー、100%
ジュースなどの加工品の商品開発にも
積極的に取り組む、6次化による農家組
合員の所得向上を目指しています。

「きらり」の森一真センター長は「お客
さまに清水の農産物をできるだけ気軽
に食べてもらえるよう、日々工夫を重ね
ている。かき氷は製氷にもこだわってい
るので、素材本来の味を楽しんでもらえ
れば」と期待を込めています。

このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

昭和40年代頃までの古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



清水の歴史を
貴重な資料で振り返る

[archive-4]



庵原村農業協同組合の加工場(昭和20年代)

資料提供:杉山報徳社

写

真は神明山から撮影されたと思われるものです。

昭和12年に、ミカンの市場性獲得と輸出ミカン缶詰製造を中心とした庵原農村工業加工場が創設されました。第二次世界大戦中は閉鎖しましたが、昭和23年から工場は再開。ミカン缶詰、マーレド、肉類魚類など年間を通じて製造していました。

戦後、アメリカ進駐軍用として輸入されたオレンジジュースが、大衆飲料として普及しました。国内生産のオレンジジュースの原料はアメリカ産がほとんどで、わずかに割が夏ミカンや温州ミカンでした。

こうした状況のなか、地元ミカン農家に直結するジュース産業に転換し、庵原の柑橘業を堅実なものにしようと、当時の柑橘連合会や県の協力を得て、技術面や販売等は連合会、工場経営は庵原村農協というジュース工場建設がスタートしました。当時、柑橘業界の画期的な出来事だったようです。

昭和28年12月に缶詰工場南側にジュース工場が完成しました。現在の静岡ジェイエイフーズ(株)の場所です。敷地内には二階建ての寄宿舎もあり、工員は約250人。年末年始休みなく、工場は稼働していました。



【現在の静岡ジェイエイフーズ(株)付近】

清水の魅力を全国へ届けよう！
あなたも一緒に楽しく
清水の農産物をPRしませんか？



CWO
ユニット
とは？

清水のミカンをPRするために、2012年に結成した音楽ユニットです。オリジナル曲「清水のミカン」「清水に集まれ！」を制作し、さまざまなイベントやテレビ、ラジオなどに出演しています。現在は、ダンスユニットとして活動しており、学生、社会人、JA職員など、10～20代のメンバーが所属しています。PR活動のほかにも、ミカンやイチゴの収穫体験や、おいしいお茶の淹れ方など、清水の農産物について学べる学習会を開催しています。

応募条件

- ・清水区に在住または通勤・通学している10～20代の女性
- ・ダンスが好きな方（経験は問いません）
- ・清水が大好きな方 ※すべてボランティア活動です

お問い合わせ

お気軽にメールでお問い合わせください。
詳しい内容をご案内します。

JALみず 営農部 営農企画課

TEL : 054-367-3210

mail : einou-s@shimizu.ja-shizuoka.or.jp

メールの際は、件名に「CWOユニット」と入力してください。



健康・便利・安全に

JALみず くらしの 総合展示会



日時 8月31日(金) 17:00～19:00
9月1日(土) 9:30～17:00

会場 JALみず本店
(清水区庵原町1番地)

展示内容 婦人服・礼服・ジュエリー・ウィッグ・
オーダースーツ・靴・時計・マッサージ
器・寝具・食料品ほか

特典 各業者による商品購入者への粗品進呈など

お問い合わせ

JALみず各営農センター・各営農拠点
または JALみず購買課へ

TEL 054-340-0096



咲かせて下さい。
社会に人に。あなたの可能性。

看護学生募集



JA静岡厚生連するが看護専門学校(富士市)

〒421-3306 静岡県富士市中之郷2500番地の1 TEL.0545-56-0550 FAX.0545-81-5002

するが看護

推薦・社会人入試

平成30年 **11月13日** ㊦

願書受付 平成30年10月9日火～10月19日金

一般入試【I期】

1次試験(筆記) 平成31年 **1月16日** ㊦ 2次試験(面接) 平成31年 **1月31日** ㊦

願書受付 平成30年12月17日月～平成31年1月7日月

一般入試【II期】

平成31年 **2月28日** ㊦

願書受付 平成31年2月5日火～2月15日金

JAしみず旧給油所のプリペイドカード返金対応について

JAしみず給油所事業は、2018年4月1日にジェイエイ静岡燃料サービス(株)へと経営委託致しました。それに伴い、(旧)清水インター給油所で販売、ご利用いただいていた「給油所プリペイドカード」が使用できなくなっております。

つきましては、下記店舗にて「返金申込み」のお手続きを行っておりますのでご案内致します。

返金申込み対応店舗

経済部購買課

住所 清水区庵原町1番地 本店2F
TEL 054-340-0096

庵原・袖師営農拠点

住所 清水区庵原町34-1
TEL 054-367-3229

グリーンセンター

住所 清水区庵原町575-8
TEL 054-367-2112



ふれあい館 休館日のお知らせ

誠に勝手ながら、下記のとおりふれあい館(ローンセンター・不動産センター)を休業させていただきます。皆さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、よろしく願いたします。

ふれあい館 休館日
8月11日(土)～15日(水)

お問い合わせ JAしみずローンセンター TEL 054-367-3268
JAしみず不動産センター TEL 054-367-3215

理事会だより | 定例理事会 6月21日(木)

議事

- 平成29年度下半期監事監査指摘事項に対する回答について
- 固定資産の売却及び処分について
- 大口貸出について
- 夏期賞与の支給について



皆さんからの投稿大募集!! ▶▶▶

MAIL ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp



編集後記

熱中症が気になる時期。塩分摂取の為、昨年の梅干しを食べてみました。上手に出来なかった梅干し。この時期に食べると他の季節より美味しく感じます。加工保存した筍も、4月に食べると美味しいと聞いたことがあります。旬は、旬な時期に食すのが良い、ということでしょうか。でも、今年漬けた梅干しに到達するまでには、まだ時間がかかりそうです。(伊藤)

アンテナショップきらりの「かき氷」の撮影に行ってきました。イチゴを丸ごと凍らせた果肉氷を、かき氷機がシャリシャリと氷を削る音。そして目にも鮮やかな色で涼を感じました。「食べたい!」撮影でなければ私も購入していたところでした。被写体の子どもは、本当においしそうに味わっていました。(蒲生)

今年の梅雨は雨が少ないと思っていたら、西日本を中心に梅雨前線等の影響で記録的豪雨。梅雨が明けたと思ったら全国各地で猛暑が続く、自然の猛威に翻弄されております。まだまだ暑い日が続くので、熱中症など十分に注意が必要です。私は体調管理が苦手ですので、暑い日にはなるべく外に出ず、涼しい部屋の中で過ごしたいと思っております。(佐藤)

2018年度

ミカンオーナー 大募集

港の見える畑でゆったりミカンを収穫しませんか?

ミカン栽培に適した好条件の園地で、おいしいミカンが収穫できる「ミカンオーナー」を募集中!ミカン畑は、お子さんやご年配の方でも作業しやすいように整備されていますので、ゆったり、のんびり、収穫を楽しめます。収穫までの栽培や管理は、園主が行います。収穫したミカンの地方発送も可能です。



園地の場所 静岡市清水区庵原地域
(新東名清水いはらIC周辺)



オーナー期間 ご契約日から収穫終了(お届け)まで。

収穫 皆さまで収穫をお楽しみください。園主が栽培管理し、契約コースに応じたミカンの樹をご提供します。

募集期間 10月19日(金)まで
※ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

料金 収穫量に応じてコースをお選びください。
20kgコース～
早生ミカン・青島ミカン共通
8,000円～

主催 清水いはらミカンオーナー園主会

お申し込み・お問い合わせ JAしみず農地整備課
(清水いはらミカンオーナー園主会事務局)
TEL 054-367-3214(平日のみ)



詳しくはホームページをご覧ください。

鳥獣被害対策にはコレがオススメ!



アニマルフェンス

使用者の方にお話を聞いたところ、昨年まで有害鳥獣により、トウモロコシや落花生などの約半分が被害に遭っていましたが、アニマルフェンスとネットを組み合わせた柵を設置してからは、被害が一切なくなったとのことでした。アニマルフェンスはJAしみずグリーンセンターで取扱っています。鳥獣被害にお困りの方は、ぜひ一度お試しください。

- グリーンセンター TEL 054-367-2112
- グリーンセンター由比店 TEL 054-377-0377

子どもたちの元気な笑顔に掲載しませんか？

取材 らせて いただける **こども園**
(幼稚園・保育園)

ワンパク しみずっ子 大募集!!

毎月、静岡市清水区内の保育園・幼稚園・こども園を紹介する人気コーナー「ワンパクしみずっ子」では、ご出演いただける園を随時募集しています。カメラマンがおじゃまして、子どもたちの笑顔を激写！写真は広報誌の誌面へ掲載し、インターネット動画サイトへも配信しています。お友だちと遊ぶ子どもたちの様子や園の雰囲気、在園児の保護者、これから入園する親子の皆さんへ発信しませんか？

これまで掲載した各園の行事をご紹介します！



カメラマンがおじゃまして、子どもたちの笑顔を残します！

★ 掲載の流れ ★

- 撮ってほしい園の行事、日時などをJA広報課へ連絡
JAしみず広報課
TEL054-367-3221
- 後日、JAから連絡。カメラマンが撮影に伺います
- 掲載予定の誌面、動画を作成、園が確認
- 広報誌に掲載、動画配信。
掲載誌をお届け



動画をみてみよう

これまで配信している動画はホームページから閲覧可能。



JAしみず
動画チャンネルの
バナーをクリック！